

星野道夫 写真展

Hoshino Michio
The Eternal Journey

悠久ゆうきゆうの時を
旅する

私はいつからか、
自分の生命と、自然とを
切り離して考えることが
できなくなっていた



2021

7.17^{SAT} ~ 9.20^{MON}

春のアラスカ北極圏、群れにはぐれてさまようカリブー 撮影：星野道夫

| 開館時間 | 9:30~18:00(入館は17:30まで)

| 休館日 | 月曜日(ただし8月9日・9月20日は開館、翌日休館)

| 観覧料 | 一般 500円(400円) 中高生 200円(160円) 小学生 100円(80円) ※こども文化パスポートの適用あり

*()内は30人以上の団体料金 ○療育手帳提示者、身体障害者手帳提示者、精神障害者保健福祉手帳提示者及び付添人(身体障害者の方の付添は本人が4級以上)は無料
○公的機関が発行した北九州市、下関市、福岡市、熊本市、鹿児島市の65歳以上の市民であることを確認できる証明書提示者の割引は2割

| 主催 | 北九州市立文学館

| 後援 | 朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、NHK北九州放送局、
RKB毎日放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、テレQ、CROSS FM

| 協力 | 星野道夫事務所 | 企画協力 | クレヴィス

北九州市立文学館
Kitakyushu Literature Museum

極北の自然に魅せられた写真家の軌跡——

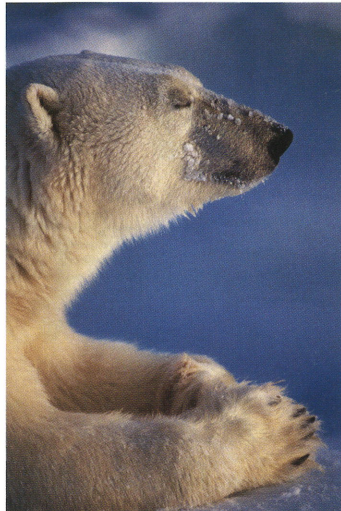
少年の頃から北の自然に憧れ、極北の大地アラスカに生きた星野道夫。

取材中に事故で亡くなり、25年を経た現在においても、心打つ大自然や動物の写真と美しい文章で、多くのファンを魅了しています。

北極圏の大自然、そこに息づく野生動物や人々、そして語り継がれた神話……

星野は多くの「出会い」を通じて思索を深め、写真家として成長していきました。

本展では、20歳の時に初めて足を踏み入れたアラスカの村の記録から、亡くなる直前まで撮影していたロシアのカムチャツカ半島での写真までを一望します。また、20歳の時に初めてシシュマレフ村の村長に宛てて書いた手紙をはじめ、貴重な資料展示を交え、旅を終えることなく急逝した星野道夫の足跡を辿ります。未完の作品群から、「自然と人の関わり」を追い続けた星野の新たな旅に思いを馳せていただければ幸いです。



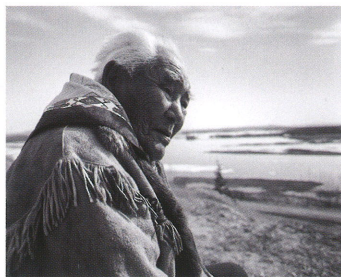
ホッキョクグマ。カナダ・ハードソン湾



アルペングロウ(山頂光)に染まる夕暮れのデナリ(マッキンレー山)

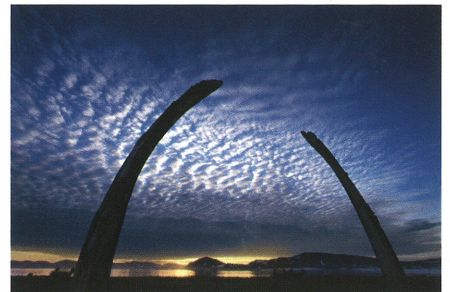


ドルルシブ

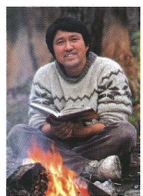


アラスカの原野に生きる狩猟民族の
古老ピーター・ジョン(96歳)

撮影：星野道夫



クジラの肋骨が立つ浜。ロシア、チェコ半島に近いイティグラン島



星野道夫 (ほしのみちお)

1952年、千葉県市川市生まれ。19歳のときに目にしたアラスカ先住民の村の空撮写真に惹かれ、村長宛て手紙を書く。20歳の夏休みにアラスカに約3か月滞在。帰国後、写真家になる決意をし、慶應義塾大学卒業後、動物写真家・田中光常氏の助手を2年間務める。1978年、アラスカ大学野生動物管理学部に入学。以後、アラスカの自然と人々をテーマに写真と文章で記録し発表。1996年8月、カムチャツカ半島で取材中にヒグマに襲われて急逝。アニメ賞・木村伊兵衛写真賞受賞。

——大切なことは、出発することだった。——

イベント
Event

参加
無料

《会場》
文学館交流ひろば

申し込み
方法

①③は7月3日(土)、②は7月17日(土)の各9:30から
電話で申込み(093-571-1505)

※新型コロナウイルス感染症の
状況により、変更・中止する
場合があります。

① スライド&トーク

「悠久の時を旅する 星野道夫が見続けた風景をたどって」

《出演》 星野直子さん(星野道夫事務所代表)

《日時》 7月31日(土) 13:30~15:00

《定員》 50名(先着)

② 朗読で味わう星野道夫さんのエッセイ

スライドで映す写真を背景に、星野さんの美しい文章を朗読します。

《朗読》 ブックネットワーク北九州(代表 仲紀子さん)

《日時》 7月24日(土)、8月7日(土)、21日(土) 各日11:00~11:40

《定員》 各30名(先着) ※親子(小学生以上)から大人まで参加できます

③ カメラを持ってまちに出よう!

いつもとは違った視点で、まちの魅力を写真に切り取って
みませんか?

《スケジュール》 撮影講座→カメラを持ってまち歩き→
写真の発表と講師による講評

《講師》 写真家・四宮佑次さん(日本写真家協会会員)

《日時》 一般の部 7月18日(日)

親子の部 8月1日(日)

各日とも 10:00~13:30 ※9:30 受付

《定員》 一般の部 20名(先着)

親子の部 15組(1組2名)

《持参》 デジタルカメラかスマートフォン

会場では、オリジナル映像(約10分)の放映、写真撮影スポット、
書籍やオリジナルグッズ販売のミュージアムショップもお楽しみいただけます♪

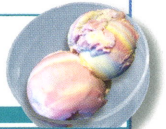
Collaboration Menu

期間中、隣接する中央図書館

「カフェ・ラポール」に

コラボメニューが登場!

オーロラアイスクリーム ほか



※新型コロナウイルス感染症
の状況により、内容に変更が
生じる場合があります。
当館ホームページ、SNSなど
でお知らせします。

〒803-0813 北九州市小倉北区城内4-1

TEL 093-571-1505 FAX 093-571-1525

www.kitakyushucity-bungakukan.jp/

Access

- JR小倉駅より徒歩15分
- JR西小倉駅より徒歩10分
- 勝山公園バス停より徒歩1分
- 北九州市役所前バス停より徒歩2分
- 小倉北区役所前バス停より徒歩2分
- 北九州都市高速大手町ランプより2分

駐車場は文学館最寄りの
各有料駐車場をご利用下さい。

